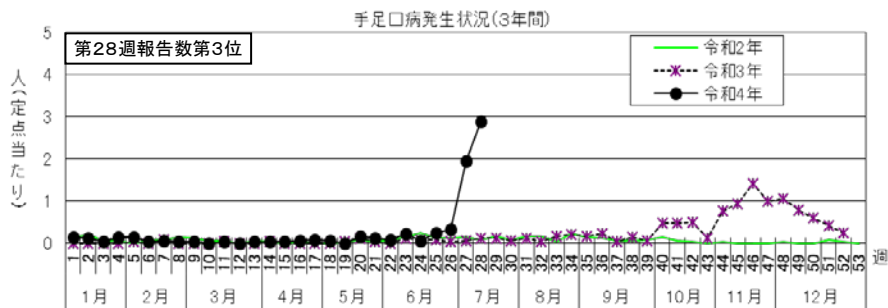
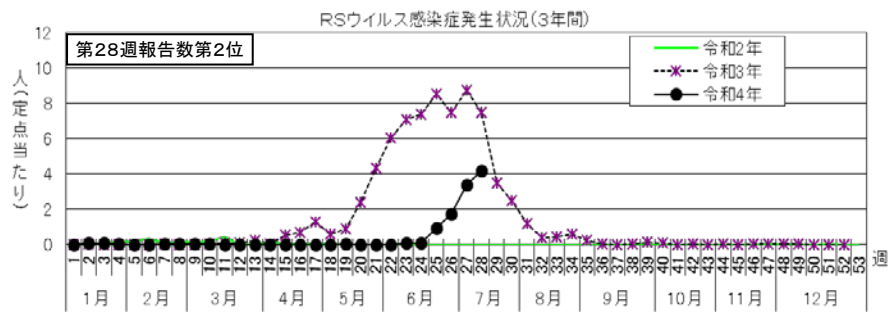
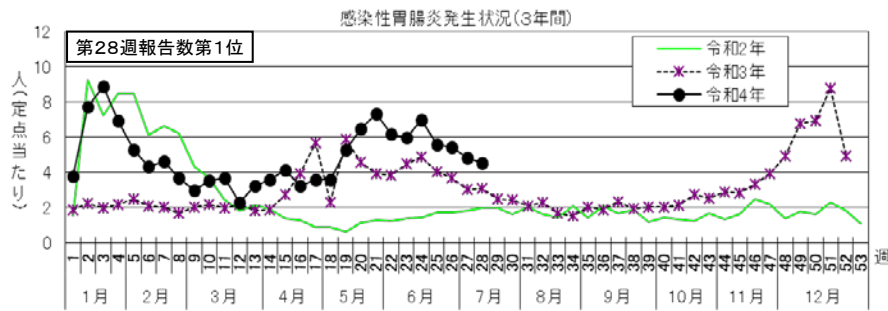


# 今、何の病気が流行しているか！

## 【感染症発生動向調査事業から】

令和4年7月11日（月）～令和4年7月17日（日）〔令和4年第28週〕の感染症発生状況

第28週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) RSウイルス感染症 3) 手足口病でした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.54人と前週（4.81人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。  
 RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は4.17人と前週（3.41人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。  
 手足口病の定点当たり患者報告数は2.89人と前週（1.95人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

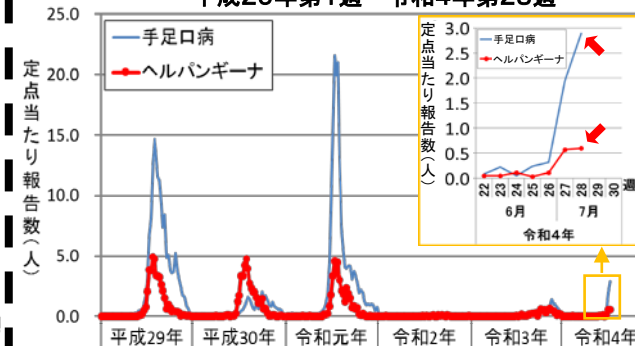


## 夏かぜに注意～手足口病・ヘルパンギーナ～

手足口病やヘルパンギーナは、エンテロウイルス属のコクサッキーウイルスなどを原因とする感染症です。通常は夏季に流行しますが、新型コロナウイルス感染症の流行が始まった令和2年以降は報告数が大幅に減少していました。今年、川崎市における令和4年第28週（7月11日～7月17日）の手足口病及びヘルパンギーナの患者報告数が、それぞれ定点当たり2.89人、0.60人といずれも3週連続で増加しており、注意が必要です。

手足口病とヘルパンギーナは、発しんや口腔内の水疱など特徴的な症状もみられますが、発症初期は新型コロナウイルス感染症との鑑別が難しいこともあるため、お子さんの発熱時は、他の症状の有無にも御注意ください。

川崎市における手足口病とヘルパンギーナの発生状況  
 -平成29年第1週～令和4年第28週-



### 手足口病とは？

感染経路：飛沫感染、接触感染、糞口感染

潜伏期間：3～5日

症状：軽度の発熱（38℃以下が多い）、  
 手掌・足裏・口腔内などに水疱性の発しん  
 ※基本的に予後は良好ですが、まれに重症化して髄膜炎や脳炎などを引き起こすことがあります。



### ヘルパンギーナとは？

感染経路：飛沫感染、接触感染、糞口感染

潜伏期間：2～4日

症状：突然の発熱（38～40℃程度）、  
 咽頭痛、口腔内に水疱や白い潰瘍  
 ※発熱は1～3日程度で、ほとんどは予後良好ですが、まれに髄膜炎、心筋炎等を合併することもあります。

